

市民意識調査結果の概要

— 第13回八潮市市民意識調査結果から —

図広聴広報課 ☎ 226

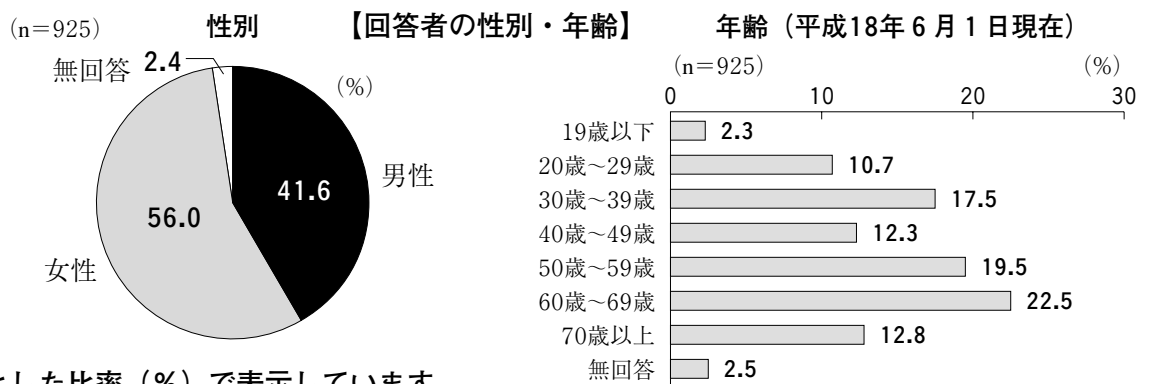
市民意識調査は、広聴活動の一環として、市民の皆さんの行政全般にわたる意識や意向、要望および評価の実態を把握するために実施したものです。調査を通じて市民の皆さんからいただきました貴重なご意見やご要望につきましては、今後の市政運営の基礎資料として有効に活用します。その調査結果の一部をお知らせします。

また、この調査にご協力いただきました市民の皆さんに、お礼を申し上げます。

【調査の方法】

調査対象	満16歳以上の市民
対象者数	2,000人
回答者数	925人
回収率	46.3%
調査方法	郵送配布—郵送回収
調査期間	平成18年6月12日～6月30日

【回答者の性別・年齢】



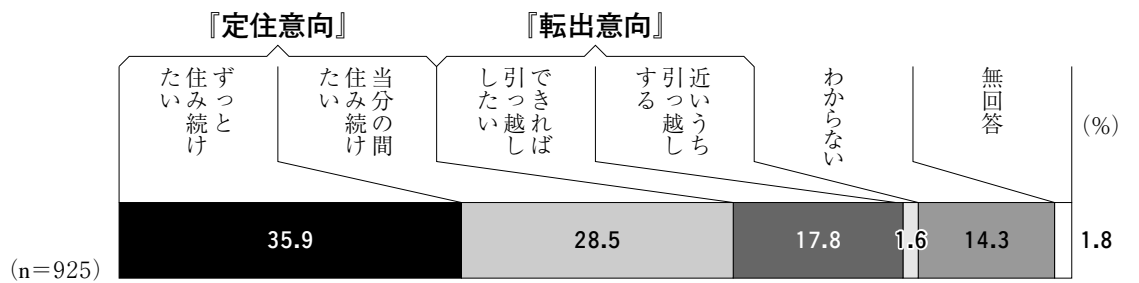
◆表やグラフの数字は、有効回答者数 (n) を基数とした比率 (%) で表示しています。

暮らしやすさについて (定住意向)

⇒ 『定住意向』 は6割を超える

「ずっと住み続けたい」は、35.9%、「当分の間住み続けたい」は28.5%となっており、これらを合わせた『定住意向』は64.4%を占めています。その理由としては、「自分の持ち家がある」「住み慣れていて愛着を感じる」が特に多くなっています。

前回調査と比較すると、『定住意向』も『転出意向』も大きな違いはありません。



暮らしやすさについて (暮らしやすさの評価)

⇒ 『ごみ収集』 への評価が高い

八潮市の暮らしやすさを、分野別に「良い」～「悪い」の5段階で評価していただきました。

「良い」と「やや良い」を合わせた『肯定評価』は、「ごみ収集」(26.2%)、「地域での買い物などの便」(21.7%)、「自然環境保護や公園・緑地」(13.3%)、「市外へ通じる道路」(13.2%)、「各種の講座や事業など学習の環境」(12.2%)が上位5項目となっています。

これに対して、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『否定評価』は、「交番や防犯灯の設置など犯罪の予防」(60.3%)、「市内の道路整備」(51.0%)、「バスの本数とバス路線」(47.5%)、「排水路の整備」(46.9%)、「医療機関、医療体制」(43.6%)が上位5項目となっています。

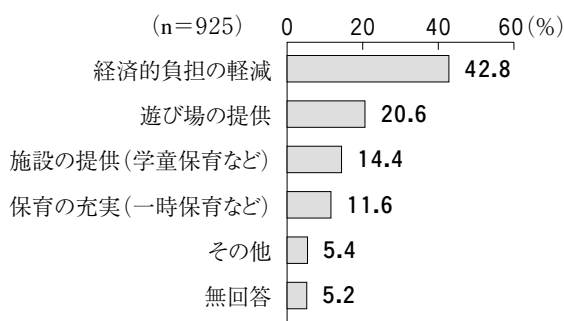
暮らしやすさの評価

分野	肯定評価 (%)	否定評価 (%)			無回答 (%)	
		良い	やや良い	普通		
医療機関、医療体制	2.4	5.9	41.6	26.3	17.3	6.5
高齢者・障害者・児童の福祉	2.7	4.4	47.4	24.3	12.2	9.0
各種団体による地域福祉	0.8	3.2	57.4	19.8	7.4	11.5
青少年の健全育成	0.6	4.1	51.2	21.5	10.8	11.7
各種の講座や事業など学習の環境	1.2	11.0	53.5	16.8	5.5	12.0
文化財の保護・保存および史跡の保存	1.5	8.2	63.4	11.1	3.0	12.8
文化活動および文化施設	0.9	9.0	50.9	20.5	6.5	12.2
スポーツ活動および体育施設	1.6	9.6	42.9	24.2	9.7	11.9
自然環境保護や公園・緑地	1.9	11.4	35.0	27.0	15.0	9.6
市内の道路整備	1.4	7.6	31.2	30.7	20.3	8.8
市外へ通じる道路	1.8	11.4	39.5	23.1	15.1	9.1
バスの本数とバス路線	2.6	8.8	33.1	25.2	22.3	8.1
交通安全対策	0.8	3.9	49.1	22.1	13.5	10.7
ごみ収集	2.4	8.1	18.1	50.1	11.8	4.2
排水路の整備	1.0	5.1	37.9	27.9	19.0	9.1
公害の防止	0.6	2.3	48.9	24.4	12.4	11.4
交番や防犯灯の設置など犯罪の予防	0.4	2.2	28.4	34.4	25.9	8.6
災害に対する訓練や避難場所	0.9	4.3	49.6	26.4	8.5	10.3
地域での買い物などの便	2.4	5.4	16.3	39.2	19.5	12.2



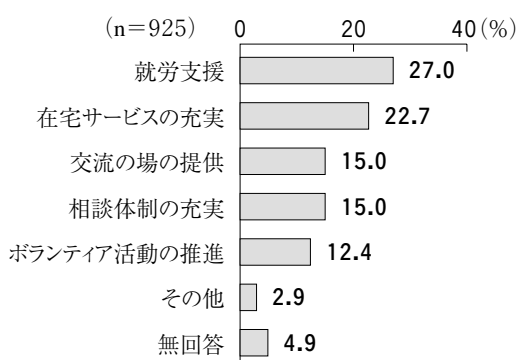
福祉について

子どもを健やかに育てるために大切なこと



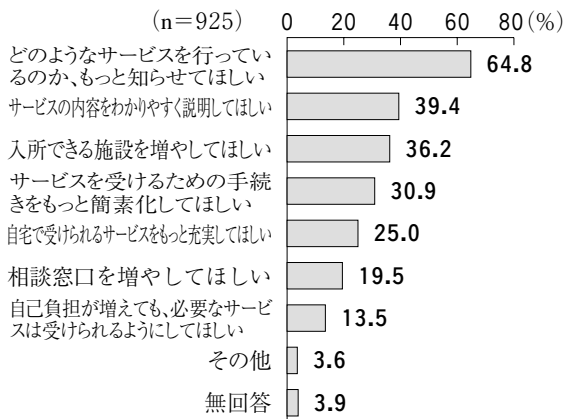
子どもを健やかに育てるために、大切なことでは、「経済的負担の軽減」が42.8%と特に多くの支持を集めている。これに「遊び場の提供」(20.6%)、「施設の提供(学童保育所など)」(14.4%)、「保育の充実(一時保育など)」(11.6%)が続いています。

障害のある人が安心して生活するために必要だと思うこと



障害のある人が安心して生活をするために必要だと思うことは、「障害のある人への就労支援」(27.0%)が最も多く、次いで「ホームヘルパー派遣、ショートステイ事業など在宅サービスの充実」(22.7%)、「障害のある人と障害のない人の交流の場の提供」および「相談体制の充実」(15.0%)となっています。

高齢者福祉サービスへの希望



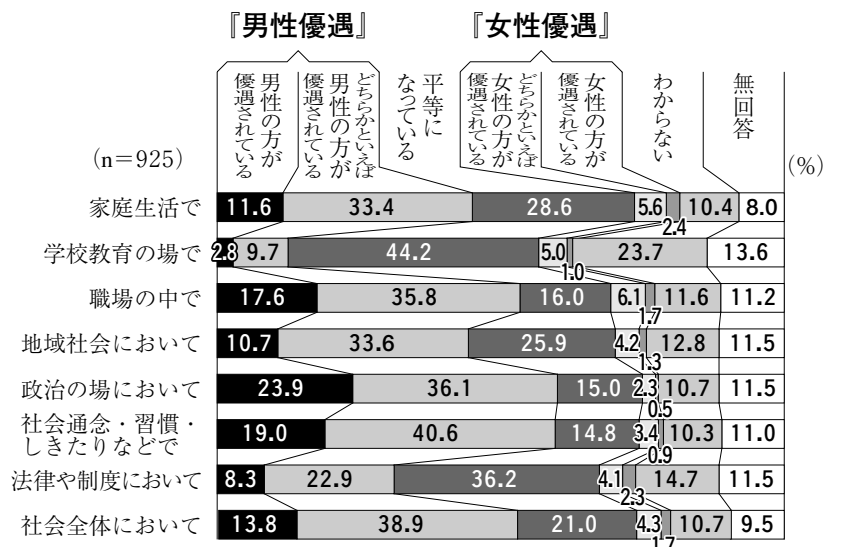
高齢者福祉サービスについて望むことは、「どのようなサービスを行っているのか、もっと知らせしてほしい」(64.8%)が特に多くなっています。これに続いて「サービスの内容をわかりやすく説明してほしい」(39.4%)となっており、市が行っている高齢者福祉サービスについてわかりやすい情報提供や説明が求められていることがわかります。

男女共同参画社会について

⇒男女平等の評価は、最も高い「学校教育の場で」でも5割未満

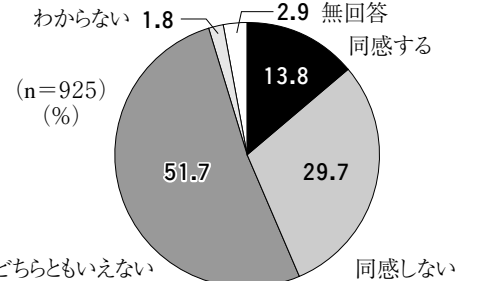
男女平等の評価

「平等になっている」との評価が高いのは、「学校教育の場で」の44.2%、次いで「法律や制度において」の36.2%、「家庭生活で」の28.6%となっています。ただし、最も評価が高い「学校教育の場で」においてさえ、「平等になっている」と回答した人は半数にも届きません。これに対して、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優位』は、「政治の場において」(60.0%)、「社会通念・慣習・しきたりなどで」(59.6%)、「職場の中で」(53.4%)で過半数を超え、多くなっています。また、「社会全体において」は『男性優位』が52.7%となっています。



「男は仕事、女は家庭」という考え方について

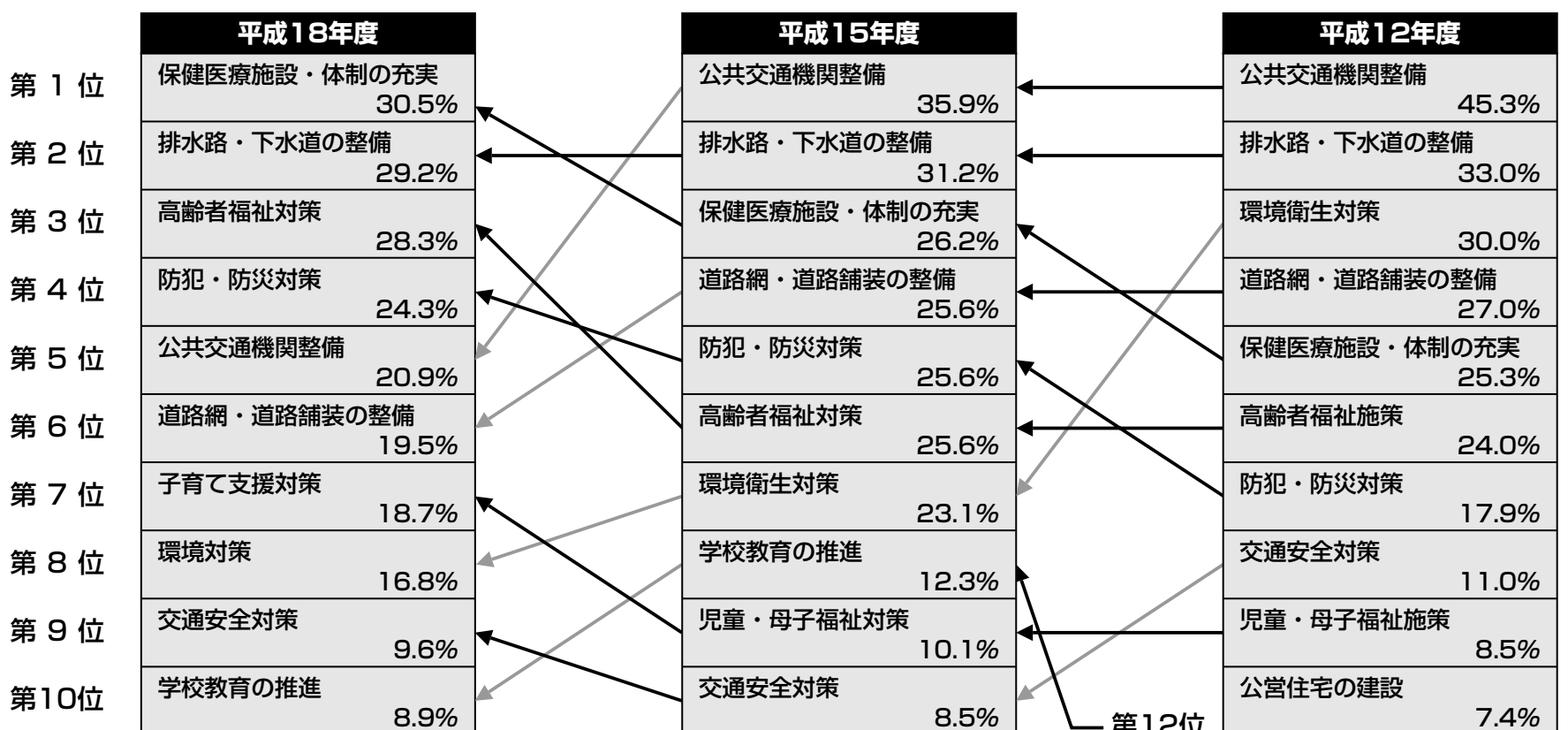
「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「同感する」が13.8%に対して、「同感しない」は29.7%で大きく上回っています。しかし、最も多いのは、「どちらともいえない」(51.7%)で5割を超えています。



市政に対する関心、施策への要望について

⇒「保健医療施設・体制の充実」、「排水路・下水道の整備」が多い

特に、市に力を入れてほしいことを第1位から第3位までの合計比率が高い順にみると、「保健医療施設・体制の充実」が30.5%で最も多くなっています。経年比較で見ると、前回までトップだった「鉄道・バスなど公共交通機関の整備」は、今回20.9%で第5位となっています。それに代わって、「保健医療施設・体制の充実」(30.5%)、「高齢者福祉対策」(28.3%)および「子育て支援対策」(18.7%)が順位、割合ともに上げています。



※市ホームページに「第13回八潮市市民意識調査報告書」を掲載しています。(http://www.city.yashio.lg.jp/)